学校番号	3019

令和８年度　芸術科

教科	芸術科	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（教育出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・作品制作や資格（毛筆検定、硬筆検定）の取得をめざす。

2　学習の到達目標

・書写の力をさらに高めるとともに、芸術としての立場で、書のさまざまな美しさを学習していく。

【知識および技能】

書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解している。 創造的な書表現をするために、基礎的な能力をいかし、効果的な表現の技能を身につけ表現している。	書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	毛筆検定の問題	・ひらがな ・カタカナ ・楷書	a:毛筆検定の問題から、書のよさや美しさを理解し、技能を身につける。 b:毛筆検定の問題から、表現を工夫する。 c:毛筆検定の問題から、主体的に活動に取り組む。	提出作品 レポート	ワークシート	観察
		・行書 ・掲示 ・漢字かな交じり文 ・賞状				
2学期	作品制作 臨書	・文化祭の作品制作 ・篆刻 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑	a:自分の表現にあった古典を臨書し、技能を身につける。 b:自分の表現にあった古典を探し、その作品の美しさを理解する。 c:自分の表現にあった作品作りに意欲的に取り組む。	提出作品 レポート	ワークシート	観察
	臨書 作品制作	・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 ・蘭亭序 ・校歌を書く				
3学期	作品制作	・半切りによる作品制作 ・百人一首	a: 書のよさや美しさを理解し、作品制作に効果的な技能を身につける。 b:作品制作の表現や構成を工夫する。 c:作品制作の手順や構成に意欲的に取り組む。	提出作品 レポート	ワークシート	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度